

議会だより

第70号

令和3年7月31日発行

新型コロナウイルスワクチン接種訓練

主な内容

- 第103回定例会の結果 …………… P2～4
- 議決結果 …………… P5
- 一般質問 …………… P6～13
- 表彰伝達式ほか …………… P14
- 委員会調査レポート …………… P15
- 市民ギャラリーほか …………… P16

南あわじ市議会
ホームページ



 マチイロ



南あわじ市議会
YouTube



<https://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/site/gikai/>

議案の審査報告

灘黒岩水仙郷管理費1億4260万円の追加

令和3年度一般会計補正予算(第2号)

■議案内容

歳入歳出に、それぞれ1億4260万円を追加。

■主な質疑

▼灘黒岩水仙郷管理費

1億4260万円の追加

当初予算との関係は。

昨年年度、解体設計の委託業務を実施したが、予算策定時は金額は未確定だったため、今回補正予算を計上することになった。

今回の工事の内容は。

施設の解体工事関連に加え、施設付近は地籍調査が未完了のため、境界を確定させる用地測量業務も実施する。

解体工事はどれくらいの期間を考えているのか。

予定では、半年程度を考えている。



▲灘黒岩水仙郷管理棟

市立学校設置条例の一部を改正する条例制定

賛成多数で原案可決。

■議案内容

倭文中学校を三原中学校へ統合し、倭文中学校を設置条例から削除する。

■主な質疑

倭文中学校の今後の利用方針は。

地元で跡地利用の部会が立ち上がった。地元と協議し有効活用できるような考えていきたい。

トロフィーなどの貴重品の取り扱いは。

三原中学校と統合するので、基本的には三原中学校に引き継ぐ。倭文地区特定の品物は、倭文小学校や地元を引き取ってもらうことを今後検討していく。



▲倭文中学校

ケーブルテレビ設備等撤去工事請負契約の締結

■議案内容

日本電通株式会社(大阪市)と3億2747万円で購入。

■主な質疑

地元業者が工事できない理由は。

入札の仕様で、1億円以上の光ファイバー撤去等の工事実績としていたが、一方で、資格を有する事業者が市内にあり、JVの一人として参加できるようにしていた。結果としてJVによる市内業者の参加はなかった。

利用価値のある撤去物は業者の所有になるのか。

メタルの同軸ケーブルなどは売却できる可能性があるため、積極的に売却し工事費と精算をしていく仕様になっている。

賛成多数で原案可決。

個人情報保護条例及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定

■議案内容

情報提供ネットワークシステムの所管が変更され改正を行う。

■主な質疑

なぜ、権限が総務大臣から内閣総理大臣が変わったのか。

各省庁が縦割りのなかでICTの導入等が行われてきたが、費用が膨大になり、統括していく考え方等のもと、デジタル庁が創設された。デジタル庁は内閣直属で、内閣の長が内閣総理大臣のため権限が変わったと理解している。

■討論

反対 蛭子 智彦 議員

■討論要旨

利便性や効率性というアメリをちらつかせながら、個人情報等を本人了解なく、非識別化という加工をしての企業等への提供の拡大は、同時に限りなく個人情報漏えいのリスクを拡大させていく。国民監視体制の構築の一里塚でもあることから反対する。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

賀集小学校校舎大規模改造工事(第1期)請負契約の締結

■議案内容

株式会社森長組と1億6830万円で契約。

■主な質疑

大規模改造工事は何期まであるのか。

基本的には校舎を大きく2つに分け、2期工事で考えている。

工事の内訳は。

割合は、建築本体工事が59%、機械設備工事が22%、電気設備工事が17%、6%、焼却炉の解体工事が1.2%となっている。

トイレの洋式及び乾式化はどうなっているか。

和式トイレを洋式トイレに変え、全て洋式トイレになる。床についても乾式化し、掃除がしやすく、衛生的になる。

低入札になった理由は。

業者と現場の距離が近く運搬費用等に影響したこと、当初工事として現場のことを把握できていたため、シビアに見積もることができたと考えている。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

手数料条例の一部を改正する条例制定

■議案内容

地方公共団体情報システム機構がマイナンバーカードを発行し、手数料も同機構が徴収することになったための改正。

■主な質疑

今回の改正は、デジタル庁の設置に関係するものなのか。

マイナンバーカードの抜本的な利便性向上と、発行運営体制の強化を図るため、地方公共団体情報システム機構が、マイナンバーカードの発行と手数料の徴収をすることの条例改正。

マイナンバーカードの再発行等の手続きはどのようになるのか。

手数料の徴収事務は、機構から市に委託され、改正後も、これまでと同様、市の窓口で手続き及び手数料も支払っていただく。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

税条例等の一部を改正する条例制定

■議案内容

地方税法等の一部を改正する法律が公布されたための改正。

■主な質疑

今回の改正に関係するセルフメディケーション税制とはどのような制度か。

所得税及び住民税における医療費控除の特例で、通常の医療費控除とは別に控除が認められるもの。

この制度はあまり活用されていないが、その理由は何か。

通常の医療費控除と併用できず、また、通常の医療費控除よりも控除限度額が低いため、生計を一にする家族分を合計して申告することが多い医療費控除では、控除限度額が200万円までである通常の医療費控除を選ぶ申告者が多いことなどが考えられる。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

産業廃棄物最終処分場条例の一部を改正する条例制定

■議案内容

埋立可能量が少なくなり、施設の残余年数を延長するため、搬入廃棄物の受入基準の改正を行う。

■主な質疑

問 処分場の容量が満杯になる時期を延ばすことが目的だと考えるがどうか。

答 建設廃材は、建物の解体等で発生する瓦くずとスレートに限り、土砂は、良質な建設残土に限って年間搬入量を制限することで、約8年程度延命できると予測している。

問 搬入量の制限など、各建設業者に対して説明をしたのか、また、搬入量の割り当てを考えているのか。

調整する。
スレートはアスベストを含んでおり、割れたものは受け入れられないという指導をするべきではないか。
スレートに含まれているアスベストは非飛散性で、安定型の最終処分場では受け入れ可能で以前から受け入れられている。また、飛散防止に十分気をつけ、可能な限り成形品の状態で運搬するよう案内している。
代替の産廃処分場を早急に建設するべきではないのか。
産業振興の面からも処分場はあるほうが良いと考えている。引き続き研究、協議をしていきたい。

■委員間討議

スレートの管理は厳重にすべきもの。スレートの搬入は除外すべき。
アスベストの扱いはきちりするほうが良いので賛成する。
民間処分場で処分することになると利用者の費用

負担が増えるので、現状で違法性がないため、スレートの受け入れには賛成する。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

南淡路駐車場施設条例の一部を改正する条例制定

■議案内容

南淡路駐車場施設を兵庫県道路公社より財産取得したための改正。

■主な質疑

問 駐車場の将来的な全体構想はどのように考えているのか。

答 今後、観光客の増加が見込まれるので、みさき荘などを補完するような、景観を楽しみ、市の特産品を食べ、買っていただける施設を計画している。駐車場とトイレ、展望施設のほか、レンタサイクルや飲食でき

る施設を考えている。
今回の施設整備等のスケジュールは。
令和3年度に既存の建物を解体し、令和4年度に展望施設などの一部を着工、令和6年度末に駐車場も含めて最終的な工事が完了するよう考えている。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

(普)堀岸川護岸整備工事(第1期)請負変更契約の締結

■議案内容

三原開発株式会社との契約を2860万円増額し、1億630万7900円に変更。

■主な質疑

変更契約の理由は。
工事車両等の安全性を図るため仮設道路等を当初より嵩上げし、杭長も当初より1.5m伸ばした。また、サポート管等を辺山形鋼から鋼管に変更が主なもの。
設計コンサルタントは、変更にかかる内容を把握できていなかったのか。
ボーリング調査等していたが、想定より川床が軟弱で、盛土の高さを眺望平均満潮位に設定していたため、安全な仮設道路を作る

■議決結果

賛成多数で原案可決。

国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定

■議案内容

国民健康保険税の税率を改正する。

■主な質疑

資産割の段階的な廃止と均等割・平等割の引き上げがポイントだが、今回の改正の考え方は。
今年度は、資産割の税率を4分の1下げたこと。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

には高さが足らなかった。
薬剤注入が新たに追加されているが、河川の生態系に影響はないのか。
既設護岸との定着等を考えて遮水性のある薬液を注入するが、水産物には影響がないものを選んでいる。漁業組合との打合せは、まだ残っている。

また、今後の兵庫県下の統一税率に向けて平均的などころまで均等割を近づけることになった。
昨年度、一般会計から繰り入れをしたが、最終的な決算見込みは。
前年度繰越金や翌年度国庫等返納金との差し引きを考慮しないといけないが、1億3400万円の黒字決算の見込みである。

■討論

反対 吉田 良子 議員

■討議要旨

コロナ禍の中で国保税の引き下げが求められていたが、1世帯当たり最大16800円の引き上げは認められない。均等割の引き上げは、子育て世代を直撃するもので、子どもへの均等割は見直すべきである。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

議決結果一覧

■全議員賛成の議案

Table with 3 columns: 提出者, 議案名, 議決結果. Lists 6 items approved by all members.

Table with 3 columns: 提出者, 議案名, 議決結果. Lists 6 items approved by all members.

議長は表決に加わらない。(○は賛成、×は反対、-は欠席)

■賛否の分かれた議案

Table with 3 columns: 提出者, 議案名, 各議員の賛否. Lists 5 items with mixed support.

スマートフォン等で各議員のQRコードを読み取ると、一般質問の録画映像をご覧いただけます。

市政を問う ～より良い南あわじへ～

Table with 2 columns of questions and answers, listing council members (議員名), question content (質問内容), and page numbers (ページ).

()書きの質問については、掲載しておりませんが、録画映像でご覧いただけます。

創世クラブ

久米 啓右 議員



農地の有効活用について

問 5年前の南あわじ市の農業者の人口と現在の人口は。

答 5年前は6292人で、現在は4562人。27.5%の減少。

問 農地面積の減少はどうか。

答 現在の経営耕作面積は3074haで、10年前と比べて3.9%の減少。

問 就農人口の減少率に対して、農地の面積の減少が非常に少ない。どのように分析しているのか。

答 地域で「人・農地プラン」なり農会で踏みとどまっている結果と考える。

問 「人・農地プラン」のメリットは。

答 農家へのフィードバックはできているのか。

問 「人・農地プラン」を作成した後の各農家への「プラン」のフィードバックはできているのか。



答 作成する過程で、地域農業の将来を地域の皆さんと話合うこと。そういう話し合いの中で地域の将来の姿を見据えていくということ。

問 「人・農地プラン」の実質化のねらいは？

答 実質化では集落の現状を把握するためにアンケート調査から地図を作成すること。そして地域の課題を関係者と共有すること。

問 「人・農地プラン」の共有策にアナログ的だが紙ベースのファイル化とデータベース化の両面で南あわじ市版「人・農地プラン」実質化としてはどうか。

答 ファイル化、それとデータベース化は市としても考えていく時期が来ていると思う。

問 「人・農地プラン」を作成した後の各農家への「プラン」のフィードバックはできているのか。

答 農家へのフィードバックはできているのか。

日本共産党南あわじ市議員 蛭子 智彦 議員



子育て世帯、特に大学生などを 持つ家庭への支援を

問 コロナの影響で、生活が苦しくなっている家庭への支援をどうするべきでないか。また、水産業者への支援も行うべきと考えるがどうか。

答 漁業者は大変しんどくなっている。追加的なことを含めて考えていく必要がある。フードドライブ(余った食材を提供してもらい、困窮者に届ける活動)をしているが、74名の申し込みがあり、何ができるか考えているかと思っている。国の動向も見ていきたい。

問 学生を持つ家庭の苦しさはまだ分かったくない。

答 やる気がないから聞いてないのではない。何らかの支援をした。いましばらく待ってほしい。ワクチン接種のスケジュールを明確に、9月末までに終了を国は10、11月にワクチン接種を終えるようにという方針と聞く。市は、9月末までに終わるようできないか。



▲フードバンクを利用する学生達

他に、排水機場の管理費用について質問しました。

日本共産党南あわじ市議員 吉田 良子 議員



コロナと本気でたたかう市政を

問 今後のワクチン接種の取組は。

答 64歳以下は、対象者が増えるのでスムーズな予約方法、集団接種での歯科医師会の協力や個別接種での医師会と協議する。

問 優先接種を高齢者施設等の従事者だけでなく学童保育、教職員等にも拡大してはどうか。

答 保育士、幼稚園教諭は検附中。要望がある訪問看護事業所での公費によるPCR検査は。必要に応じて抗原検査キットの配布を調整。

問 妊婦は、公費でPCR検査が一回、

問 医療機関で受けられるが情報提供が必要ではないか。

答 周知を検討する。生活支援としての反響があった「食材の無料配布」の今後の取組は。

問 関係者と協議し、子ども食堂などの取組などを検討する。

問 子ども貧困対策を進める上での実態調査はどうか。

答 あらゆる関係機関を通じて検討する。

問 さんゆく館の施設の今後について。

答 直ちに廃止は、基本的にないが、あらゆる検討をしていきたい。

問 中央公民館の大ホールの音響設備について。

答 調査し、予算を確保し改修。



▲SDGs持続可能な開発目標(1番目)

市民連合クラブ
北村 利夫 議員



人口増対策について

問 少子化の定義は。
答 基本的には出生率の低下、そのベースとなる出産期女性の人数の低下だと思ふ。

問 少子化の影響は。
答 労働力不足、地域コミュニティ力の低下、社会経済基盤を維持発展が難しく財政の持続性が危うくなる等様々な課題が生じる。

問 少子化になった要因背景は。
答 様々あるが未婚率、初婚年齢の伸びが要因の一つ。

問 未婚化、晩婚化の原因は。
答 若者の考え方生活スタイル等多様性が進んだこと。

問 出生数は。
答 平成22年度が371人、27年度が362人、令和2年度は243人。

問 出生数に直結する婚姻数の見直しは。
答 生涯未婚率、初婚年齢の上伸等で減少傾向にある。

問 全国家庭調査によると、子供1人当たり年30万円以上の支出が増えると、出生に影響するか。
答 かなりインパクトの高い数字だと感じる。

問 若者にターゲットを絞った支援策のさらなる充実を求めます。
答 その他、脱炭素社会実現について質問した。



ゆづるはクラブ
原口 育大 議員



農業後継者への支援策について

問 ゆづるはクラブでは、JAあわじ島の幹部役員と懇談を行い、インターンシップ研修制度受講者、移住希望者、海外からの技能実習生等が宿泊できる施設整備が必要であるという認識で一致した。
答 市に於いてどのよう
問 市に於いてどのよう
答 市の施設とかJAの支所も統廃合により跡地ができてくることは承知しておりますが、誰が工事を行うのか、事業性は見込めるのかというところは、まだ解決できていない。関係団体

問 とも協議しながら考えていきたい。
問 インターンシップ研修をより効率的に受講できる制度の改良は。
答 県に対して働きかけ、良いように運用する方向で市としても動きたい。

問 農業用倉庫とか農業機械の仲介斡旋システムと人・農地プランの担い手、親方農家の間での情報共有についてはどうか。
答 情報交換がスムーズに行える方向を目指したい。

問 大鳴門橋周辺環境整備について
答 完了予定は。

問 令和6年度の完成予定。
問 みさき荘と大鳴門橋記念館の指定管理は、これまで公募していないが、次回はどうか考えているか。
答 令和7年以降の管理運営については、次の施設の状態を踏まえて、適切な管理手法、やり方について検討していく。



▲JAあわじ島での懇談会

南あわじ市公明党
熊田 司 議員



ヤングケアラーに支援の手を

問 ヤングケアラーの定義は。
答 年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担をもって、本来大人が担うような家族の介護や世話をすることで、自らの育ちや教育に影響を及ぼしている18歳未満の子供のこと。

問 どのような方法で、該当する家庭を支援できるのか。
答 本市では、支援が必要にもかかわらず、支援につながらない人を発見・把握する仕組みを作り、分野を超えた包括的な相談体制の構築に向け、検討を進めている。その中で、ヤングケアラーの支援体制も構築していきたい。

問 この事業を、当市でも立ち上げる計画はないか。
答 分野を問わない包括的な相談支援体制の構築に向けて、現在関係部署でチーム

問 国の少子化対策基本法を策定して、10数年にわたって対策を行っていますが好転しない。何故か。
答 経済的な問題、教育にお金がかかる部分と、男女の家事、育児の負担等これまでの対策は本質的なメスが入っていないかった。

問 重層的支援体制整備事業の創設を
問 事業の内容は。
答 介護・障がい・子供・生活困窮など、分野に関わらず、相談支援・参加支援・地域づくりを一体的に実施し、包括的な支援体制を構築するもの。

問 緊急に必要な分だけを備蓄し、あとは、ドラッグストア等に提供してもらおう
答 何とか購入していきたくと思うが、いざという時には流通備蓄という形で対応していきたい。

問 ムを立ち上げて検討を進めている。
問 液体ミルクの備蓄を



▲液体ミルクと哺乳瓶

小・中学校のICT環境・オンライン教育の充実を

ゆづるはクラブ
太田 康文 議員



問 教育現場で何台のタブレットを導入したのか。
答 児童生徒用3458台、電子黒板142台は秋頃導入予定。

問 タブレットの破損で家庭への負担はないか。
答 メーカー保証を4年間に延長。画面の割れや水没は年2回まで無料保証。

問 タブレットを活用した授業とは
問 どのように授業で活用しているのか。
答 一斉学習・個別学習・共働学習、幅広い使用を目指している。低学年では、写真撮影して植物観

問 遠隔システムを活用した授業は。
答 不登校や病気で登校できない児童生徒に活用。また遠方の工場をオンライン見学したり、タブレットを家庭に持ち帰って接続検証を行っている。

問 小・中学校にICT支援員の配置を
問 ICTの日常的な活用を行う上で地方財政措置もあるI
答 ICT支援員の配置を検討すべき。今の支援体制では安心して授業で活用できない。モノだけではなく、ヒト・技術面でも支援することは急務である。

問 タブレットが文具扱いに変わる上で、どんな支援がしているのか検証は必要。
答 技術者か、授業サポートか、学校が望む支援をできる人材配置を前向きに考えていきたい。



▲市内小学校のICTを活用した授業を会派視察(2021年6月)

一般質問

誠道クラブ

谷口 博文 議員



コロナ禍におけるイベント行事について

問 2021年の成人式についてはどうなっているか。

答 再延期となつて、令和4年1月9日に2021年の成人式、翌1月10日に2022年の成人式を実施する予定で準備を進めています。

問 海水浴場の閉鎖理由は。

答 市内に公営海水浴場は4つあり、年度初めまでは開催する予定でしたが、コロナが感染拡大したことから県・3市で協議し、その結果をもって海水浴場地元地域と協議し、閉鎖とした。

は、消費喚起と商店街の応援、キャッシュレス決済については市内外の方が使えることから経済循環を目的とした事業となつていきます。非課税世帯への支援としましては、今後福祉部門と相談協議しながら進めたいと考えています。

問 海水浴場閉鎖による観光業へのサポートは。

答 昨年からの一律の使用料を売り上げに応じた段階的な使用料の変更で対応した。今後は使用料をただ下げていく方向ではなく、施設の改修も含め、地元の方々と話し合う会を設けたい。

問 プレミアム付商品券の申し込み状況は。

答 9万5千セットのうち、3万セット残っている状況です。**問** 商品券やキャッシュレス決済では、恩恵の少ない世帯への支援は。



▲鯉縄漁業

創世クラブ

木場 徹 議員



水産業と海の環境について

問 市民生活と対策は

答 市民への支援策として、給付金、商品券を支給しないのか。

答 一律給付金に関しては、いいとは思っていないが、生産者の厳しさを緩和出来る様考えたい。

問 水産業と海の環境

答 栄養塩とイカナゴの漁獲高との関係は。

建設の工事着手、その後営業スタートさせる予定だが、計画が実行出来ない場合は契約解除もありうる。

問 湯の川荘の活用

答 地域からは、湯の川荘周辺で観光拠点づくりを行い、新たな産業の創出、若者の定住促進、持続可能な地域を目指すの取組を行うと理解している。



▲鯉縄漁業

翠クラブ

小島 一 議員



コロナ感染症について

問 12歳から15歳までのワクチン接種と問題点は。

答 免疫の反応に差があること、子供に対する副反応も治験が済んでいない。接種については、市としての決定はしていない。国の見解を待ちたい。

問 事業者に対する補償は。

答 支給は2期の部分が徐々に支払いが進んでいる。2月8日から3月31日の分については、現在支払いを進めている。4月1日からの部分の申請について今後支給していく。**問** 選挙に対するコロナ感染の予防対策は。

がら、回答が作成できたものから、要望者へ回答している。

問 要望が出されるから、かなりの期間そのままになっている。塩漬けになっているものを取り扱いは。

答 それなりの調整はさせて頂きながら、時期を待っている。

問 3年から5年以内には1回見直して市民とキャッチボールができるよう対応をしてほしい。



創世クラブ

木場 徹 議員



女性の社会進出について

問 市内小中学校で女性管理職の占める割合は。

答 42人中10人で23.8%である。県下の公立小学校では19.7%でありここ5年間で急激に増えている。

問 女性が管理職を目指すには。

答 女性に限らず管理職の希望者が全県レベルで減ってきている。教頭職の業務改善が必要と考える。勤務時間適正化検討委員会等で協議を進めていきたい。**問** 本市職員の女性管理職を増やす取組は。

答 特定事業行動計画を策定している。



▲福祉計画

市民連合クラブ

土井 巧 議員



発達障害の現状と支援

問 発達障害とは。

答 発達障害者支援法では自閉症、アスペルガー症候群、その他、広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害である。

問 幼児、義務教育段階、成人しからの支援体制は。

答 保育所等では発達障害の児童の特性を確認した上で個別ケース会議を開いて検討している。学校教育段階では必要に応じてあわじ教育相談を活用したり、学校でのケース会議を開いたり支援体制を検討している。

その他、中学校の部活動・働き方改革について学校現場の要望を伝えた。新型コロナウイルスに関する質問を行った。

ゆづるはクラブ

北条志津子 議員



地場産食材の普及推進を

問 一日の学校給食数と給食費は。
答 約4000食。中学校290円、小学校258円、幼稚園155円。
問 職員数と業務は。
答 正規職員12人。会計年度任用職員23人。シルバー配送委託5人。栄養士3人。汚染、非汚染、洗浄区域と調理場がある。
問 地場産食材の使用率は。
答 県調査を毎年6月、11月の第3週の5日間のメニューを基にしている。令和2年度の6月25・52%、11月37・40%。県平均10・40%。
問 今後の使用率向上の取組は。
答 丸山海釣り公園の太鼓橋修繕と耐震性は。
答 老朽化診断業務を行い平成26年に太鼓橋補修改修工事を行った。3年後に耐用年数を迎え指定管理者を含め、施設の在り方を漁協や地元自治会と協議する。
安全対策を速やかに
問 ローソン前、西川東詰交差点の重点的な安全対策を。
答 信号機の設置も含め課題と認識している。粘り強く要望、交渉、協議を進める。
その他、通学路安全対策、感染症対策、環境美化等について質問をした。



▲学校給食 牛ピリごはん

市民連合クラブ

印部 久信 議員



公共事業の発注について

問 令和3年度各団体協会等に243件、32億6574万円の補助金。公共事業の発注件数、金額は。
答 発注156件、65億8000万円。
問 入札方法は。
答 直接入札、電子入札。
問 業者の選定は。
答 入札契約事務取扱要領格付基準に準じる。
問 予定価格の設定は。
答 実施設計の額。一時、最低制限価格にランダム係数を乗じたが理由は。
答 最低制限価格の漏えい防止。
問 不落不調について。
答 令和3年度各団体に達しなかった場合不調は最低制限価格以下を含め全員失格。
問 不落不調の市の対応は。
答 業者の指名替え。工事業務内容の見直しによる再入札。
問 どういう事業に多いのか。
答 農地整備の災害復旧工事、護岸道路改修規模の小さい工事が多い。
問 低入札価格調査制度について。
答 平成30年9月より入札制度の改革の一環として実施。理由は。
問 最低制限価格の漏えい防止の一環。低入札価格を適用する事業費は。
答 1億5000万円以上の入札。
問 令和2年に11件で6件が調査基準価格を下回った。落札予定価格と落札価格との差が一番多いもので28%。これでは適正利潤が出ないではないか。他の業者が疲弊しないかデフレスパイラル、不当廉売が起こりつつあると思うが。
答 低価格調査制度に関して言えばコスト割れのチェック、技術的、地理的優位性、実行可能と判断した場合は不当廉売にはならない。



おのころクラブ

廣内 孝次 議員



SDGsの取組について

問 SDGsに市は取り組まないのか。
答 市の取組と方向性は一致しており、研究等を進める。
問 子供たちの学習は。
答 学習指導要領には「持続可能な社会の創り手の育成」が掲げられており、これに基づいた教育を進めることが、実現に向けての歩みと言える。
観光振興について
問 日本農業遺産の目的、内容は。
答 農林水産省「農業遺産・かんがい施設遺産を旅しよう」ということで、遺産をめぐるながら見る、遊ぶ、食べる、学ぶをコンセプトに旅をする内容で、農業と観光分野の連携を図る。
問 日本農業遺産の景観ポイント、補助制度は。
答 牛や玉葱小屋もある中山間の形を残したようなところ。指摘の点は念頭に入れて進めたい。
問 志知城の看板等周辺整備は。
答 地域住民と相談しながら検討する。
道路整備について
問 榎列小学校横のクラシクになつている道路の整備は。
答 今年度予算設計の予算を置いている。
問 榎列小学校横歩道のない県道の通学路



▲榎列小学校横歩道のない県道の通学路

8月の委員会日程

委員会	日時	場所	内容
議会運営委員会	8月23日(月) 午前10時	委員会室	9月定例会について
産業厚生常任委員会	8月26日(木) 午前10時	委員会室	所管事務調査
議会広報広聴常任委員会	8月18日(水) 午前10時	委員会室	子ども議会のまとめについて

※総務文教常任委員会は開催しません。

一部事務組合などの議会報告

令和3年4月～6月

南あわじ市・洲本市小中学校組合

▼第2回臨時会(4月5日)

副議長に間森和生議員(洲本市)を選任。行政手続きに関する押印の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例制定案を可決。浅井伸行教育長の再任並びに数田久美子教育委員の選任に同意した。

第105回 南あわじ市議会定例会日程(9月)

◆開会はずべて午前10時～

会議日	会議内容(予定)
第1日 8月30日(月)	1. 常任委員会調査報告 2. 令和2年度一般会計、特別会計等決算認定(説明、質疑、委員会付託) 3. 条例案上程(説明、質疑、委員会付託) 4. 令和3年度一般会計補正予算案上程(説明、質疑、委員会付託) 5. その他の案件上程(説明、質疑、討論・表決(一部)、委員会付託)
第2日 9月7日(火)	1. 一般質問
第3日 9月8日(水)	1. 一般質問
第4日 9月9日(木)	1. 一般質問 2. 追加議案上程(説明、質疑、委員会付託)
予備日 9月10日(金)	
第5日 9月27日(月)	1. 委員会調査報告 2. 付託案件委員会審査報告(質疑、討論、表決) 3. 追加議案上程(説明、質疑、討論、表決)
委員会 9月21日(火)	総務文教常任委員会(付託案件の審査)
委員会 9月22日(水)	産業厚生常任委員会(付託案件の審査)

※令和2年度決算は、決算審査特別委員会を設置し、審査を行います。審査の日程は、決算審査特別委員会設置後、9月13日(月)・14日(火)・15日(水)・16日(木)で調整を行う予定です。

全国市議会議長会表彰

全国市議会議長会より、永年地方自治の発展と振興に貢献された議員が表彰されました。

■在職15年以上



印部 久信 議員



小島 一 議員



廣内 孝次 議員



原口 育大 議員

総務文教常任委員会

（4月21日・5月13日）

▼デジタル防災行政無線

問 設置戸数と普及率は。
答 令和2年度末時点で、設置戸数が1万4261台で設置率は72.2%。

問 市外から転入してきた場合は、どのように案内をしているのか。
答 総合窓口センターで転入手続きの際、デジタル防災行政無線の手続きは危機管理課への案内をしている。転出の際も同様。



▲デジタル防災行政無線

▼人材育成室

問 人材育成室の主たる目的と業務内容は。
答 令和3年4月1日から人材育成室を設けた。職員の人事評価制度の目標管理

等を行い見直す。研修も見直し職員研修を進めていく。令和3年度新たに職員の自己学習への支援に予算を付けており、枠組みをまとめ夏にはスタートしたい。

▼新過疎法

問 南あわじ市が新過疎法の指定を受けたのか。
答 年度初めに新過疎法が施行され、要件の見直しがあり、旧西淡地域と旧南淡地域が認定を受けた。

問 事業ごとに過疎債が使えるのか。
答 新過疎法の規定に基づき、過疎地域持続的発展計画の策定の必要がある。国から36項目の対象事業が想定され、その対象事業に基づいて定められた計画事業が過疎債の対象になると考えている。

▼デジタル教科書

問 デジタル教科書の本格導入はいつからか。
答 2024年本格導入に向け国が調整を進めている。

令和2年度 政務活動費実績報告

(単位：円)

会派名 (人数)	交付額	執行額									返納額
		調査 研究費	研修費	広報 広聴費	要請・陳情 活動費	会議費	資料 作成費	資料 購入費	事務費	計	
ゆづるはクラブ (5人)	750,000	0	80,618	160,050	0	0	0	0	34,864	275,532	474,468
市民連合クラブ (4人)	600,000	0	0	0	0	0	0	93,132	16,137	109,269	490,731
創世クラブ (2人)	300,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	300,000
誠道クラブ (2人)	300,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	300,000
日本共産党南あわじ市議団 (2人)	300,000	0	25,200	69,190	0	0	0	139,420	94,284	328,094	0
南あわじ市公明党 (1人)	150,000	0	0	0	0	0	0	0	9,480	9,480	140,520
おのころクラブ (1人)	150,000	0	0	0	57,136	0	0	0	16,183	73,319	76,681
翠クラブ (1人)	150,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	150,000
計	2,700,000	0	105,818	229,240	57,136	0	0	232,552	170,948	795,694	1,932,400

※交付金額は、1人あたり年間15万円（月額12,500円×12カ月）。詳細は市ホームページでも公開しています。



産業厚生常任委員会

（4月20日・5月22日）



▼河川

問 県が管理している河川は、どのようにして工事になるのか。
答 河川の管理の基準により、順次河川浚渫等を行っていく。昨年度から、総務省等の枠が拡大され起債事業等を使い以前より進捗は早まっている。

問 市内で堤防に木が生えている場所が多い。川が増水した時など木が流れ堰に

なり災害につながる恐れや堤防の決壊に結び付く可能性があるので、県に要望などできないのか。
答 過去に樹木伐採だけをしたことがある。水の流れる堰の部分を確認できるよう、今後も県に要望、調整はしていく。

▼空き家対策

問 現在把握している危険空き家は、何棟あるか。
答 令和3年3月末現在、相談件数で315件ある。

問 所有者とはどのようにコンタクトを取っているのか。
答 危険な部分は、土地所有者等を特定し、補助制度も含めて通知している。相続権者等になっている場合も、特定し通知を送付している。

問 危険なブロック塀の対策は。
答 危険なブロック塀の対策は、



危険なブロック塀の対策は、

第12回議会報告会

議会を身近に 市民とのキャッチボール

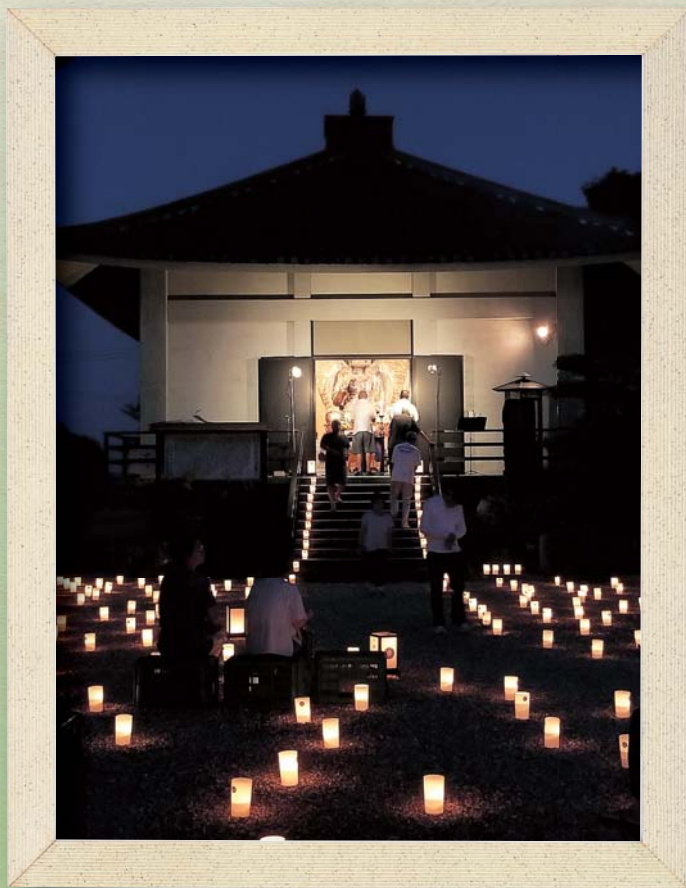


令和3年度の議会報告会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から、5月18日(火)本庁議場で「コロナ禍での南あわじ市民への影響について」をテーマに、各種団体代表者による状況報告と意見交換会を行いました。

後日、市長に当日のまとめを報告しました。寄せられたご意見やご提言をこれからの議会活動に生かし、さらなる議会の活性化に取り組んでまいります。

毎年国分寺で行われる「献灯会」8月1日午後7時〜9時頃夜間特別公開
境内を小さな灯火で照らし出し、その穏やかな夏のひと時を楽しんでいた
だければと思います。

(撮影場所 南あわじ市八木)



引き続き写真募集!!

風景・イベント等の写真を
お待ちしております



これまで以上に親しまれる「議会だより」の取組として、
皆様から投稿していただく写真(風景、イベント等)・コメントを掲載するコーナーを設けています。

▶▶**応募条件**▶▶ 応募者本人が南あわじ市内で撮影した写真のうち、他のコンテスト等への応募をしていないもの。

▶▶**応募方法**▶▶ 住所、氏名、電話番号、タイトル、撮影場所、コメント(50字以内)を、明記の上、
下記の方法でお送りください。

- Eメールの場合 gikai@city.minamiawaji.hyogo.jp
- 郵送、持参の場合 〒656-0492 南あわじ市市善光寺22番地1 南あわじ市議会事務局 宛

▶▶**注意事項**▶▶ ・掲載については、議会広報広聴常任委員会で審査決定し、採用された方には連絡を差し上げます。
・ご応募いただいた写真・データ等は返却しません。
・肖像権、登録商標の無断転用、著作権の侵害等に関するトラブルには、当市議会は一切の責任を負いません。
・掲載作品の著作権は作者に帰属しますが、当市議会がHP等で使用することができるものとします。

お知らせ

市民インタビューは、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止しています。

編集後記

長引くコロナ禍の影響で、6月定例会では傍聴席への入場をお断りし、ロビーのテレビモニターを観ていたただくこととなりました。

また、議場や委員会室にアクリル板を設置し、入室時の検温と手指消毒、マスクの着用、入口扉を開放して換気に努めるなど、感染対策の徹底を図るとともに、平成31年3月に策定した議会業務継続計画(BCP)について、議会運営委員会が中心となって、感染症への対応を見直す作業に取り組んでいるところです。
ワクチン接種が順調に推移し、平穏な日常が一日も早く訪れることを願ってやみません。
(原口)

議会広報広聴常任委員会

北条志津子 久米 啓右
太田 康文 谷口 博文
吉田 良子 原口 育大